

■会議録

会 議	令和4年度 第2回 社会教育委員会議
開催日時	令和4年11月30日(水) 午前10時30分から午前12時00分まで
開催場所	市役所第2別館 第2会議室
	<p>山陽小野田市社会教育委10名 矢野 憲文委員、榎崎 八由美委員、富永 恵美子委員、長谷川 義明委員 大本 章男委員、平中 政明委員、香川 真澄委員、半矢 幸子委員、江中 幸夫委員 吉本 光良委員</p> <p>事務局7名 藤山教育部長、舩林社会教育課長、亀田主幹、安藤係長、柿並係長、來嶋係長、 縄田主事</p>
会議次第 及び結果	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 令和4年度山陽小野田市地域交流センター利用に関するアンケート調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月～9月末に行ったセンターアンケートについて報告を行った。電子申請含め回答数1,009件。利用年齢層や利用時間、若者層の傾向、センター主催事業に関する内容を報告した。 <p>以下、委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のアンケート内容は、各校区ごとに分かれていない。自身の校区で今後の主催事業等の内容を検討していきたいので、各校区ごとのデータも作成し、各校区へ知らせてほしい。 <p>(2) 第64回全国社会教育研究大会広島大会 兼 第44回中国・四国地区社会教育研究大会の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/27、28に開催された研究大会について、参加した吉本委員長、柿並係長、來嶋係長より報告。主に27日に開催されたシンポジウム「これからの時代を見据えた学びのデザイン ～ニューノーマル時代における社会教育の在り方～」について報告した。 <p>(3) 第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理【概要】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11期中教審における議論の整理について、概要版をもとに説明を行った。人への投資、デジタル社会への対応など生涯学習・社会教育をめぐる現状・課題についての説明、また、公民館等の社会教育施設の機能強化、社会教育主事の配置等を含めた人材への投資、コミスク・地域学校協働活動の全国的な推進など、今後の振興方策について説明した。 <p>3 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材発掘を企図した地域交流センター主催事業の具体について ～地域貢献を進める人づくりの実践～（委員によるグループ協議） ・センター化後のセンターにおける主催事業について、委員のグループ協議に入る前に昨年度社会教育委員に作成いただいた、センター化に関する提言書及び本日のアンケート結果、社会教育委員研究大会、中教審における議論の整理を、人づくりに関する視点で振り返りを行った。その後、センターでどのような主催事業を行えば、人材発掘につながるかを委員間でグループ協議を行った。 <p>以下、3つのグループから出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループA センターへ来るきっかけづくりとして、中・高生や子育て世代が放課後や土日に集える場（サロンやカフェ）を設置し、誰でも気軽に来ることができる雰囲気づくり

を行う必要がある。そこに集まった人たちが情報交換することが、また新たな人材発掘につながってくる。

- グループB

それぞれの地区の人達がどのようなことに興味を持っているのかをアンケート等により情報を集める。そこから講座をつくることで、新たな人材の発掘につながる。人づくりはセンターだけではできないので、地区の多くの団体とつながりながら、人づくりを進めていくのが望ましい。学校を通じて保護者へのアンケートを行うことで、若い世代の関心を知ることができるのではないかと。アンケートだけではなく、生の声を色んなところで聴く必要もある。

- グループC

昔の公民館祭りのような、地域のたくさんのグループ（小・中学校、公民館クラブ、地域の団体）等が一堂に会し、大々的に祭りを行えば今までセンターに来たことがない人がどんどん集まるので、新たな交流が生まれる。そこから新たな人材を見つけることができるのではないかと。

全体を通じた委員の意見

- センター化が急ピッチで行われたが、センター長から困りごと等は聞いていないか。（事務局）特に聞いていない。

4 社会教育課長あいさつ